2013年度Ｎｏ．１１

園報せいあい

発行;社会福祉法人聖愛保育園
湯布院町川上2990-14/TEL84-2317
園　長　小森　一典

２月　主　題　　「 育ちあう仲間 」

『 励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。』　　新約聖書　コリントの信徒への手紙Ⅱ　１３章１１節

「 愛と平和の神さまがいつも一緒に 」

毎年、卒園や修了を間近に控える２月は、子ども達一人ひとりの成長を振り返り見極める季節であると言われます。私たち職員も、この一年の保育の見直しを心掛けながら、卒園や進級に向けて、子ども達と共に新しい春の訪れを心から待ち望んでいます。

さて、今月は**「励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。」**という聖書のみ言葉が与えられています。

愛と平和の神さまがいつも共にいて下さる。何と素晴らしいことでしょうか。これは、聖愛保育園が創立以来、いつも大切に育んできた保育（教育）理念であり、子ども達一人ひとりに伝えたい、聖書の教えの一つであります。

それは、私たちの生きる世界や社会の中から、未だに戦いや争い事が絶えないからです。家庭の中でも子ども達の世界でも、小さな揉（も）め事は決して無くなりません。その度に、心身に傷を負いながら生きている人も少なくはないのです。「どうしたら、愛と平和に満ちた世界や社会になるのだろう」。これは、人間の永遠のテーマであると言えるでしょう。

オランダの教育学者の一人にＭ・Ｊ・ランゲフェルド（１９０５年～１９８９年）と言う人がいます。彼は、最近の社会の風潮と人々の生き方の傾向を指摘している中に、「現代人は、他の人と深く関わらないような関わり方を求めている」ということを述べています。今日、人と人との繋がりが、ますます希薄（きはく）になってきた、と叫ばれています。このような人間に対する無感動の現象は、どこかで人としての崩壊を意味していることでしょう。

例えば、大人の周辺で起こる子どもの問題の中にも、路上に倒れている老人に対して足蹴りをしたり、教師に対して暴力をふるう子どもがいても、他の子どもは見て見ぬ振りをしている場合が少なくありません。又、隣りの席にいる子どもが休んでも名前も知らない無関心さ等、決して珍しいことではありません。しかし、子どもの世界だけを責めることは出来ないでしょう。大人の社会でも、自分に関心の無いことには、一切関わらない、と言う人が少なくありません。死にゆく人々のために、懸命に奉仕と看病を施したマザー・テレサの話などを、一体どのように伝えることが出来るでしょうか。

しかし、人間の本来の姿は、他の人と共に楽しく生きようとする欲求があります。この芽が表れ始めるのは、特に幼児期であると言われています。この時期に、人と交わる喜びを掛け替えのないものとして育てていきたいものです。

子どもは、最初は一人遊びをし、やがて二人で遊ぶことを求めます。間もなく子ども同志グループで遊ぶことの楽しさや素晴らしさを知るようになります。子ども同志では、ケンカの解決が出来なかったり、力の強い者が優位に立つことが多いので、大人の援助が必要となってきますが、この時の大人の指導の仕方がとても大切なのです。

「泣かされてばかりいないで、泣かしてきなさい」とか「人に負けるのは弱虫、意気地なし」と言った指導では、むしろイジメや暴力を肯定してしまうことになります。ケンカは経験した方が良いですが、どうして仲直りが出来、平和に解決する道があるかを、絶えず皆で考えていく仲間でなければなりません。

そのためには本当に公平で、愛情の豊かな人生観のしっかりした大人が、そばで見守り続けることが何よりも必要となってくるでしょう。又、子ども同志が温かい雰囲気の中で互いに愛し合い、喜びも悲しも共有することの出来る生き方を学んで欲しい、といつも願っています。そのうちに、小さな

争いや、揉（も）め事は子ども同志で考え、ゆずり合ったり、話し合ったり、順番にしたりすることの出来る人間関係のルールを学んで行くことだ、と私は思うのです。
　聖愛保育園で過ごす子ども達の心の中には、いつでも愛と平和の神さまが共にいて下さり、その心を豊かに育んで下さることを信じて、残りの１ヶ月の園生活を楽しんで欲しい、と願っています。

行 事 予 定

●　２月２６日（水）英会話（すずらん組）
●　２月２７日（木）合同礼拝・誕生日会
●　２月２８日（金）卒園・修了児記念写真（以上児クラス）
○　３月　５日（水）英会話（ゆり組、すずらん組）
○　３月　６日（木）避難訓練
○　３月１２日（水）英会話（すずらん組）
○　３月１３日（木）お別れ交流会
○　３月１８日（火）合同礼拝・誕生日会
○　３月２５日（火）総合練習日（～２６日）
○　３月２８日（金）**第６２回卒園・修了式**
○　３月３１日（月）２０１３年度保育終了日

２０１４年度
◎　４月　１日（火）入園・進級式
◎　４月２２日（火）お見知り遠足（場所は決まり次第お知らせ致します。）
※　保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますよう宜しくお願い致します。

お 知 ら せ

☆　新入園児のお友だちを紹介します。宜しくお願い致します。
　ちゅうりっぷ組　　菊池　梨奈（きくち　りな）ちゃん
　ひまわり１歳児　　麻生　紗希（あそう　さき）ちゃん
　ひまわり２歳児　　溝口　隆之介（みぞぐち　りゅうのすけ）くん

☆　**キリスト教カレンダー豆知識**
　毎年、立春を過ぎますと、キリスト教会では、レント・受難節と呼ばれる季節（今年は、３月５日・水）を迎えます。これは、私たち人間に対して、神さまの救いと愛をお示しになられるために十字架の死と復活をなされたイエス・キリストのご生涯を記念するために定められた大切な季節です。
　今年は、このレントの季節を過ごした後に、４月２０日（日）の朝、**イースター礼拝（復活祭）**を迎えます。
　キリスト教会では、三大祝祭日として、毎年クリスマス（イエス様のご降誕）、イースター（イエス様の復活）、ペンテコステ（教会の誕生日）といわれる祝祭日を大切に守っています。
　興味のある方は、是非、礼拝にご出席下さいますようお勧め致します。

☆　**卒園・修了式について**
　卒園・修了式のプログラムについては、裏面に記載していますのでご覧下さい（３月号にも掲載します）。
　また各クラスからのご案内も今後配布される予定です。

☆　**流行性疾患について**
　最近、インフルエンザに掛かっている園児が急増しています。毎日の手洗いとうがいを丁寧にお願いします。ご家庭で体調が思わしくない場合には、必ず医療機関で受診されてから登園して下さい。当園では園規則に従って保育を行っていますので、皆さま方のより一層のご理解とご協力のほどを宜しくお願い致します。

卒園式（３月２８日・金）についてのご案内

当日の流れ

時　間	３，４，５歳児	０，１，２歳児	保　護　者
８時１５分 ８時３０分 ８時５０分	すずらん組登園 その他のクラス登園 すずらん組とお別かれ すみれ、ゆり組順次、会堂に入場 卒園児会堂に入場	その他のクラス登園 各クラスにて保育士と過ごす	全クラス保護者会堂入室
９時	卒園式開始		
１０時３０分	各クラスで、証書・記念品をお渡しします。 各クラスでのお別れ会	各クラスにて記念品をお渡しします。 各クラスでのお別れ会	保護者会総会 各クラスへ移動 各クラスでのお別れ会
１１時	保護者と園庭へ 花のアーチで卒園児をお見送り ５歳児は整列してアーチを親子でくぐります	保護者と園庭へ	花のアーチで卒園児をお見送り

○　**保護者の方は８時５０分までには会堂へお入り下さい。**

・　**会堂内での携帯電話の使用は、固くお断り致します。**
・　私語は謹んで、卒園式に相応しい姿勢でご出席下さいますよう宜しくお願いします。

○　**卒園児保護者席は前方右側３列目と左側来賓席の後席２列にご着席下さい。**

○　卒園式終了後、保護者会総会、各クラスでのお別かれ会を済ませた後、１１時頃、「蛍の光」を流しますので園庭にて卒園児をお送り下さい。
卒園児はウッディ近くへお並び下さい。
在園児と保護者は花のアーチをつくって卒園児をお見送り下さい。
お見送りが終わり次第、降園となります。

ennpou Seiai（２０１４・２・２４）